

- 問1 元禄文化において、町人の義理や人情の葛藤を描いた人形浄瑠璃の脚本や、町人の生き方を描いた浮世草子で活躍した人物の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 本居宣長 – 杉田玄白 2. 近松門左衛門 – 井原西鶴 3. 葛飾北斎 – 歌川広重 4. 松尾芭蕉 – 十返舎一九
- 問2 17世紀末の江戸幕府において、財政難を解消するために実施された貨幣改鑄（貨幣の吹き替え）に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 小判の使用を全面的に禁止し、新たに発行した紙幣である「藩札」を全国一律の通貨として流通させた。 2. 小判1枚あたりの金の含有量を大幅に増やして貨幣の価値を高め、海外との貿易を有利に進めようとした。 3. 小判1枚あたりの重量は変えないまま、含まれる金の割合を減らして新貨を発行し、その差額を幕府の利益とした。 4. 小判の重量をそれまでの2倍に増やすことで、国内に流通する金の総量を増やし、経済を活性化させた。
- 問3 江戸時代の教育制度と、それが当時の社会に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 全国一律の公立学校制度が確立されており、どの地域でも同じ教科書が使われていた。 2. 寺子屋が全国に普及したことで、庶民の間でも識字率が高まり、出版文化の発展にも寄与した。 3. 幕府が庶民の教育を禁止したため、教育施設は武士階級のみ限定されていた。 4. 寺子屋は武士の道德教育を目的としていたため、実用的な技術が教えられることはなかった。
- 問4 百姓一揆の際に作成された「からかさ連判状」において、署名が円形に配置された主な目的として最も適切なものはどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 中心人物が誰であるか特定されないようにするため 2. 参加者全員の身分を証明するため 3. 五人組制度に基づく連帯責任を強化するため 4. 將軍への直訴であることを明確にするため
- 問5 18世紀後半、福島県の白河藩主から老中に就任した松平定信は、幕府の権威を立て直すために「寛政の改革」を行いました。この改革において、幕府の学問所である昌平坂学問所で行われた、朱子学以外の儒学の講義や研究を禁止した政策の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)
1. 上米の制 2. 寛政異学の禁 3. 享保の改革 4. 株仲間解散
- 問6 江戸時代初期、幕府は武家諸法度などの法令に違反した大名に対し、武士の身分を解いて領地をすべて没収する処分や、それまでの領地から別の土地へ国替えを命じる処分を下しました。これらの処分の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
1. 参勤交代と手伝普請 2. 版籍奉還と廃藩置県 3. 解体新書と禁中並公家諸法度 4. 改易と転封
- 問7 徳川吉宗が「公事方御定書」を制定した目的やその内容について、当時の時代背景を踏まえた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 朝廷や公家の行動を制限し、幕府が朝廷に対して優位に立つことを目的とした。 2. 大名を統制するために、参勤交代の制度化や大型の船を造ることを禁止した。 3. 農民に対して質素倹約を命じ、年貢を安定して徴収するための日常生活の心得を示した。 4. 裁判の基準を明確にすることで、役人による不当な判断を防ぎ、司法の効率化を図った。
- 問8 江戸時代の元禄文化の時期、上方（大阪・京都）を中心に町人の経済力が向上したことで、庶民の生活や感情を描いた作品が数多く生み出されました。この時代に活躍し、人形浄瑠璃や歌舞伎の台本として、義理や人情を題材にした作品を数多く執筆した人物は誰ですか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
1. 狩野永徳 2. 運慶 3. 世阿弥 4. 近松門左衛門
- 問9 江戸時代の百姓一揆において、参加者が署名を記す際に「傘連判状（からかさ連判状）」と呼ばれる、円状に名前を並べる形式がとられた目的として最も適切なものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 限られた署名用紙の余白を有効に使い、一人でも多くの名前を記載するため。 2. 一揆の首謀者が誰であるかを役人に特定されないようにするため。 3. 幕府への忠誠を誓う太陽の形を模すことで、要求の正当性を主張するため。 4. 参加者の中で最も村での地位が高い人物を、円の中心に据えて敬意を示すため。
- 問10 江戸時代の大名配置と政治への関わりについて述べた説明のうち、大名の区分（親藩・譜代・外様）の性質を考慮したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. 関ヶ原の戦い以降に服従した外様大名は、軍事力が高かったため、江戸を守るために近隣の関東地方に配置された。 2. 徳川氏の親戚である親藩は、幕政を主導するために、原則として全員が老中や若年寄などの役職に就いた。 3. 幕府を支える役割を担った譜代大名は、その重要性から、外様大名よりも大きな石高を持つ大領主に設定された。 4. 関ヶ原の戦い以前から従っていた譜代大名は、幕府から強く信頼され、江戸の周辺や交通の要所に配置された。
- 問11 江戸時代、天明のききんなどの厳しい社会情勢の中で発生した百姓一揆において、参加者が傘を広げたような形状に名前を書き連ねた「からかさ連判状」が作成されました。このような特殊な署名形式がとられた理由として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 一揆の中心人物が誰であるかをわからないようにし、首謀者が特定されて厳しい処罰を受けるのを防ぐため 2. 参加者全員の身分が等しく農民であることを役人に証明し、連帯責任を回避するため 3. 幕府に対して年貢の減免を願い出る際、公式な書式として円形に署名することが定められていたため 4. 一揆の決行を多数決によって決定し、村全体の民主的な合意があったことを記録に残すため
- 問12 松平定信が行った寛政の改革では、天明のききんの反省から農村の復興と食料貯蔵が重視されました。この時期の飢饉対策として、当時の社会状況に基づき実施された政策の説明として正しいものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
1. 凶作などの非常時に備え、各地の社倉や義倉に穀物を蓄えさせた 2. 物価を抑えるために株仲間を解散させ、物資の流通を自由にした 3. 飢饉に強い救荒作物として、全国でサツマイモの栽培を奨励した 4. 海外から安い米を輸入するため、長崎での貿易を大幅に拡大した
- 問13 1783年に発生した浅間山の噴火によって空が暗くなり灰が降り注ぐといった大規模な被害が記録されたように、18世紀後半の日本は深刻な自然災害や飢饉に見舞われました。こうした社会不安を受けて松平定信が主導した「寛政の改革」の内容として、最も適切なものはどれか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 幕府の財政を立て直すため、長崎貿易を制限して銅の輸出を管理した 2. 物価の上昇を抑えることを目的として、株仲間の解散を命じた 3. 裁判や刑罰の基準を明確にするため、公事方御定書を制定した 4. 生活に困窮した旗本や御家人の借金を帳消しにする棄捐令を発令した

答え合わせ・解説

問1	答え 2 近松門左衛門 - 井原西鶴	近松門左衛門は『曽根崎心中』などの人形浄瑠璃の脚本で知られ、井原西鶴は『日本永代蔵』などの浮世草子で当時の町人の経済活動や暮らしを描きました。葛飾北斎や歌川広重、十返舎一九は、後の時代の化政文化を代表する人物です。
問2	答え 3 小判1枚あたりの重量は変えないまま、含まれる金の割合を減らして新貨を発行し、その差額を幕府の利益とした。	五代將軍徳川綱吉の時代、幕府は慢性的な財政難に苦しんでいました。これを打開するため、勘定吟味役であった荻原重秀の献策により、1695年に元禄の貨幣改鑄が行われました。具体的には、慶長小判と同じ約17.85gの重量を保ちつつ、金の含有量を約15.49gから約10.24gへと大幅に減少させた元禄小判を発行しました。この吹き替えによって生じた旧貨と新貨の差額は「出目（でめ）」と呼ばれ、幕府に莫大な利益をもたらしましたが、貨幣の質が落ちたことで物価の上昇を招くことにもなりました。
問3	答え 2 寺子屋が全国に普及したことで、庶民の間でも識字率が高まり、出版文化の発展にも寄与した。	寺子屋を通じた庶民教育の普及は、文字が読める層を大幅に増やしました。その結果、瓦版や草双紙（小説）などの出版物が広く流通し、日本の豊かな町人文化や独自の文化圏が形成される背景となりました。当時の教育は地域や施設ごとに柔軟に行われており、現代のような国家による一律の公教育とは異なります。
問4	答え 1 中心人物が誰であるか特定されないようにするため	一揆の首謀者は極刑などの重い罰を受けるため、署名の順序をなくして円形にすることで、誰が指導者であるかを隠す意図がありました。また、参加者全員が対等に団結し、同等の責任を負うことを示す意味合いも含まれています。
問5	答え 2 寛政異学の禁	松平定信は、武士の綱紀を正し、幕府への忠誠心を高めるために、儒学の中でも特に上下の秩序を重んじる朱子学を正学と定めました。これにより、昌平坂学問所において朱子学以外の学問を教えることを禁じ、思想的な統一を図りました。
問6	答え 4 改易と転封	江戸幕府が大名に対して行った処分のうち、領地を没収し大名としての家を断絶させることを「改易」と呼び、別の領地へ移動させる「領地替え」のことを「転封」と呼びます。特に幕府の支配体制が固まる時期には、福島正則などの有力な外様大名に対してもこれらの処分が厳格に行われ、幕府による絶対的な支配権が確立されました。
問7	答え 4 裁判の基準を明確にすることで、役人による不当な判断を防ぎ、司法の効率化を図った。	享保の改革では、増加する訴訟を効率よく、かつ公平に裁くことが課題となっていました。公事方御定書は、刑罰の重さや裁判の手続きを統一的なルールとしてまとめたものであり、法の下での安定した統治を目指したものです。他の選択肢にある大名の統制（武家諸法度）や朝廷の制限（禁中並公家諸法度）とは、制定の目的が異なります。
問8	答え 4 近松門左衛門	江戸時代中期、商工業の発展により力をつけた町人が文化の主役となりました。近松門左衛門は、当時の社会における道徳（義理）と個人の感情（人情）の葛藤を鋭く描き、人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本家として絶大な人気を誇りました。狩野永徳は安土桃山時代の絵師、運慶は鎌倉時代の仏師、世阿弥は室町時代の能楽師です。
問9	答え 2 一揆の首謀者が誰であるかを役人に特定されないようにするため。	百姓一揆は幕府や藩の法に触れる行為であり、特にその計画を立てたリーダー（首謀者）は厳罰に処されるのが通例でした。そのため、傘連判状のように署名を円状に配置することで、誰が最初に署名したか（＝誰が主導したか）を隠し、参加者全員が同等の責任を負う団結の象徴としました。
問10	答え 4 関ヶ原の戦い以前から従っていた譜代大名は、幕府から強く信頼され、江戸の周辺や交通の要所に配置された。	江戸幕府は、関ヶ原の戦いよりも後に服属した「外様大名」を、反乱を警戒して江戸から遠い東北や九州などの地方に配置しました。一方で、古くからの家臣である「譜代大名」は江戸の周辺や要所に配置して幕府の防衛と政治を担わせました。石高については、外様大名には加賀藩（前田氏）や薩摩藩（島津氏）のように100万石や70万石を超える大領主が多かったのに対し、譜代大名は石高こそ少ないものの政治的地位が高いという特徴がありました。
問11	答え 1 一揆の中心人物が誰であるかをわからないようにし、首謀者が特定されて厳しい処罰を受けるのを防ぐため	江戸時代の百姓一揆は幕府や藩によって厳重に禁止されており、特に一揆を扇動したリーダー（首謀者）は死罪を含む非常に重い処罰の対象となりました。署名を円形に並べることで、誰が最初に署名したのか、つまり誰が指導者なのかを判別不能にし、集団全体の団結を示しつつ特定の個人が責任を問われることを防ぐ工夫がなされました。
問12	答え 1 凶作などの非常時に備え、各地の社倉や義倉に穀物を蓄えさせた	松平定信は、米を蓄えさせる「困米」とともに、地方の町村にも「社倉」や「義倉」といった倉庫を設けさせ、穀物を備蓄させることで飢饉への抵抗力を高めようとしてしました。サツマイモの栽培推奨は徳川吉宗による享保の改革、株仲間の解散は水野忠邦による天保の改革の特徴です。定信は、田沼意次が進めた商業重視の政策を改め、質素倹約と農村の立て直しを優先しました。
問13	答え 4 生活に困窮した旗本や御家人の借金を帳消しにする棄捐令を発令した	松平定信は、天明の飢饉や浅間山の噴火による混乱を鎮めるため、質素倹約を重んじる改革を行いました。その一環として、生活が苦しくなった旗本や御家人を救済するために棄捐令を出し、札差からの借金を帳消しにしました。公事方御定書は徳川吉宗（享保の改革）、株仲間の解散は水野忠邦（天保の改革）による政策です。